

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日 : 2025 年 9 月 9 日(火)18:30~19:30

場 所 : 新橋駅前ビル 1 号館 6 階 605 号ダ・ヴィンチ大会議室 + Zoom ミーティング

出席者 :

理 事 : 荒嶋、飯島、五十嵐、石原、尾山、加藤、坂口、庄野、吉田

Zoom: 内倉、臼田、小川、黒岩

顧 問 : 平松、関根、児玉、三輪(敬称略)

庄野理事の進行により、会議開始時点の参加人数(理事 18 人中 13 名出席)が定足数を満たしていることから理事会の成立が確認され、飯島会長の挨拶があり、議事録作成に加藤理事、議事録署名に吉田理事を指名して下記議案につき審議した。

<審議事項>

1、外洋団体長会議について

飯島会長より今回開催される全国外洋団体長会議の準備経過説明と報告があった。

今回は関東 4 団体がホストクラブになり横浜関内で開催予定である。

主な議題は「5 年後 10 年後の外洋団体の行く末を考える」

「外洋常任委員と外洋団体長会議の関係性について」

これに先立ち 8 月 26 日に web で関東 4 団体会長会議が行われ、団体長会議に向けて、以下のことが話し合われた。

- ・外洋団体長会議では、5 年後 10 年後の外洋団体の行く末を議題にあげたい。
- ・関東 4 団体は、5 年後 10 年後会員の減少が予想される為、事務を統合するなど対応を模索していく。
- ・関東 4 団体以外の外洋団体では、県連など外洋以外の団体との一体化した運営が必要な団体もあり、関東だけの目線ではなく広く現状を把握する必要がある。
- ・NORC から引き継いだ基金についてそのまま継続して持っているのは関東 4 団体だけの模様。関東 4 団体では、基金をこれ以上集め続ける可否について話し合われ、各団体に持ち帰って議論することになった。

上記に対して、庄野理事より海保が搜索を打ち切った後、保険での対応はできず独自で搜索する費用として 1 週間 1,000 万円は必要と過去計算で示され基金を継続していると報告があった。

- ・JSAF が JSAF 理事の選出方法の変更を検討していると飯島会長より報告があった。

現在の理事の人数を減らすこと、水域理事の必要性、理事選挙の代わりに役員候補者選考委員会で理事を決定すること、現在の評議委員会が機能するように年 1 回を 4 回に増やすなどの改革案が出ており、期限は来年を目指すとしている。

以上が web で行われた関東 4 団体会長会議の内容として報告された。

報告後、水域理事について児玉顧問、平松顧問より、外洋団体が作られた経緯と現状について説明があった。ディンギー系は県連を中心に活動している。県での発言権を持つためにも JSAF での理事の肩書きにこだわる。逆に外洋系はなり手が少なく、現状では外洋系の理事はほとんどいない。

尾山理事より水域理事が外洋系からいなくなったらどんなデメリットがあるかとの質問に、児玉顧問より国交省や保安庁、総務省などの官公庁に対応できる人を外洋系が持つことは重要であり、その人は理事の肩書きがないと動きづらいこと、神奈川県や東京都との窓口の水域理事が必要なのはディンギー系であり、外洋として水域理事は必ず

しも必要ないこと、また平松顧問からは JSAF 予算の 5 億円のほとんどは外洋に使われておらず、外洋からも意見
が言える人が必要であると回答があった。この議題については継続審議となった。

2、11 月までのレース予定の確認

荒嶋レース委員長より主催レースに関する以下の報告があった。

8/2 石廊崎レース、8/3 トランスサガミレース台風の為レース中止

8/10 湘南レース荒天の為中止。

9/14 湘南レース荒天の為中止

10/5 湘南レース 上下 2 レース予定

10/12 若大将カップ予定

11/1 小網代カップ予定

11/3 湘南レース 秋谷沖～城ヶ島沖マーク往復予定

11/7～9 リビエラスワンアジアレガッタ 2025（未定）

※理事会開催時は未定であったが、その後正式にリビエラより共同開催の申込があり外洋湘南との共催が決まった。レース運営は協力の神奈川県連を予定。MOSC はプロテクト委員の依頼を受けていると報告があった。

3、その他

庄野理事より JSAF 定期表彰に EBB TIDE の外山氏を功績賞に推薦してはと動議があった。

MOSC2 代目会長、ミドルボート選手権 3 連覇、JSAF の水域理事、ブラインドセーリングワールドを主催するなどセーリング界に多大な功績を残したことが推薦理由。異議なく推薦する方向で進めることを確認した。

<報告事項>

1、MOSC の慶弔規定について

飯島会長より 5 月の理事会で提案された慶弔規定を総務委員会で仮製作したもの、慶弔費を他団体と合わせることなどが多く規則を厳密に決めるより、今まで通り状況に応じて対応する方がいいとの結論にいたり慶弔規定は作らないと報告があった。

2、みさきヨット無線局について

石原通信委員長より 2 点報告があった。

- ・西海岸道路小網代大橋にかかる通信障害について、小網代ヨットクラブでは、JSAF みさきヨットとして飯島会長と石原理事も同席で、神奈川県土木と対面の会議を 2 度行った。小網代ヨットクラブとしては県土木と東部漁港に文書による正式な要望書を提出し、県としても通信障害が起きた時に対応が必要だということを記録として残した。免許人の JSAF から要望書も書面にして出しておいた方がよいことを確認し、小網代ヨットクラブから提出した要望書と議事録を 3 団体で共有し、そのコピーを JSAF 事務局に保管、JSAF から同様の要望書も書面にして出してもらうことを要請することを確認した。

- ・来年度みさきヨットの局免許の更新について、免許更新には半年前から準備が必要で、前回山本無線に依頼した際には総額 15 万円くらいかった。無線機のある鈴木さん宅にはこの機会にご挨拶に伺うとともに、山本無線への見積りを取り、来年度の予算化と 3 団体への更新告知することを確認した。

3、JSAF 会員登録システム等

飯島会長より JSAF 外洋艇登録の担当者が辞職し、今年中は坂口事務局長と複数人で担当することになっている。また安全委員長も辞職し様々な面で JSAF の機能が安定していないとの報告があった。これに対し臼田理事

より、安全委員会に関する補足があり、前回の団体長会議で OSR の翻訳については JSAF 側に予算がないとのことで前に進まず、常任役員から補正予算を組むなりしないと機能していかないと提言があった。これらを踏まえて JSAF の組織に対してしっかり対応するよう団体長会議などで提言することを確認した。

4、6 月才藤さんのお母様が永眠され MOSC として香典を出した。その香典返しを頂いたと報告があった。

5、プロテスト委員会より

五十嵐ルール委員長より三輪顧問のご尽力により 11/29 に横浜ベイサイドマリーナで外洋系限定の B 級ジャッジ新規講習会が開催されると報告があった。詳しくはまた連絡しますとのこと。

6、大島レース・ライフライン破断事故について

飯島会長より水域理事より大島レースでいかにしてライフラインが破断したかのレポートが送られてきたと報告があった。原因はスエーピングしてある中が錆びてそこから破断したとのこと。レポートは理事のメーリングリストで共有する。尾山理事より対処法として Shark X が使用している強度のあるシートをライフラインに這わせて万が一の破断に対処するのがいいのではと意見があった。

以上で本日の議事を終了し、次回理事会は 11 月 11 日開催を確認し 19 時 30 分に理事会を閉会した。

以上

2025 年 月 日

議事録署名人